

令和6年9月9日

独立行政法人日本学生支援機構が発行する
「ソーシャルボンド」への継続投資について

株式会社第一学習社（代表者名：松本洋介、以下「当社」）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」）が発行するソーシャルボンド（第76回日本学生支援機構債権、以下「本債権」）への投資を決定しましたのでお知らせします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債権のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。同機構は、2023年4月、ソーシャルファイナンス・フレームワークについて、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、日本格付研究所（JCR）からセカンド・パーティー・オピニオンを取得しており、本債券は「ソーシャルボンド」として発行されます。

本債権の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の内、目標4「すべての人に包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

私たち第一学習社は、本債権を始め、企業活動を通じ持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを継続して参ります。

<本債権の概要>

銘柄	第76回日本学生支援機構債権
年限	2年
発行額	300億円
発行日	令和6年9月9日

(1) ESGとは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

令和4年6月2日

独立行政法人日本学生支援機構が発行する
「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社第一学習社（代表者名：松本洋介、以下「当社」という）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（第67回日本学生支援機構債権、以下「本債権」という）への投資を決定しました。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債権のことであり、グリーンボンドとともに、ESG⁽¹⁾投資の対象となります。本債権はICMA（International Capital Market Association / 国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的なESG評価機関であるヴィジオアイリス（Vigeo Eiris・フランス）からセカンドオピニオンを取得しており、「ソーシャルボンド」として発行されます。

本債権の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の内、目標4「すべての人に包括的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

私たち第一学習社は、日本の教育の質の向上に資することを社会的役割と考えており、ブランドメッセージとして「みつめたい教育と未来」を掲げています。私たちは真摯に教育を考え抜き、教育がもたらす持続可能な豊かな未来を想像し、これからも良質なコンテンツやサービスの提供に社員一丸邁進してまいります。

また、本債権を始め、企業活動を通じ持続可能な社会の実現に貢献する取り組みを継続して参ります。

<本債権の概要>

銘柄	第67回日本学生支援機構債権
年限	2年
発行額	300億円
発行日	令和4年6月8日

- (2) ESGとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の英語の頭文字を合わせた言葉。「ESG 投資」とはこれらの要素を重視・選別して行う投資のこと

